論　文

# 中国における介護人材の育成に関する一考察

## ― 超高齢社会の到来に向けて ―

清　水　由　賀*

## はじめに

中国における人口高齢化は，急速かつ大規模である。高齢者の定義として最もよく使われる60歳以上人口は，2013年末で2.02億人，総人口の14.3％であり，ピーク時の2053年には４億8,700万人で総人口の34.9％になると予測されている［中国老**龄**科学研究中心 2014］。それに伴い，要介護高齢者も膨大な数になることが予測されている。要介護高齢者の定義については第１章において詳しく説明するが，2010年末時点での要介護者数は3,300万人であり，2015年には4,000万人近くになる［中国老**龄**科学研究中心**课题组**　2011：11］。また，2053年には１億７千万人近くにまでのぼる可能性がある［**张欢** 2013より算出］。

一方で，家族構造の変化やライフスタイルの変容などによって，「養児防老」（男児を育てて老後に備える）という表現に代表される伝統的な高齢者扶養のあり方の維持は難しくなっている。いわゆる「一人っ子政策」が1979年より実施されている。また子ども世代は出稼ぎ，就学，就職，結婚などの理由で故郷を離れ，「流動人口」となる割合も高く，その数は2012年末で2.36億人にのぼっている［国家**卫**生**计**生委流**动**人口**计划**生育服**务**管理司 2013］。その結果として夫婦暮らし・一人暮らし高齢者を意味する「空巣老人」が急増しており，高齢者全体のうち50％を超える［潘**跃** 2013］。また，「独生子女（一人っ子）を失った老人」を意味する「失独老人」も問題として取り上げられるようになっている。2012年時点で少なくとも100万戸が「失独家庭」であり，毎年7.6万戸ずつ増加しており［潘**跃** 2013］，将来1,000万戸に達するという予測もある［匡**贤**明 2013］。

そこで，介護を担う人材の育成が重要な政策課題の一つとなっている。介護の職業資格である「養老護理員（**养**老**护**理**员**）」（以下，介護士とする）という国家資格が，2002年に創設された。中国政府はこの介護士資格所有者の増加を目指している。そのための試みのうち，大きな意味を持つと考えられるのが，高等職業学校における「高齢者サービスと管理専攻（老年服**务**与管理**专业**）」の設置である。高等職業学校は介護の現場で働く人材を育てる機関の中で最も高い教育レベルであり，現場において指揮をとる人材を育成する機関である。また本専攻は2004年教育部制定の「普通高等学校高等職業・高等

＊早稲田大学大学院社会科学研究科　博士後期課程３年

専科教育における指導的専攻目録」にも入れられた高齢者介護に関する唯一の専攻である。

本稿では，まず中国における要介護高齢者の定義や予測数を概観する。次に，「高齢者サービスと管理専攻」設置の全国的動向を明らかにする。そして，専攻設置校の中でも最初の設置校二校と，北京の設置校三校を取り上げ，本専攻が設置された背景，育成しようとしている人材像，さらに育成した人材の供給先の傾向を分析する。

中国における介護人材の育成に関する議論は始まって間もなく，先行研究は多くない。特に，本専攻の設置は最近の動向であり，大連職業技術学院社会事業学科長の張岩松による研究と北京労働保障職業学院工商管理学科教員の臧少敏による研究以外，全体像を捉えたものはほとんどないと言って良い。介護人材の育成は急速かつ大規模な高齢化が進む中国において重要な政策課題であり，それを担う教育機関の分析は，中国が高齢化社会にどのように対応しようとしているかを予測する上で意義があると言えるだろう。

## 第１章　要介護高齢者の定義と予測数，必要な介護人材数

中国においてはまだ要介護高齢者の定義に関する統一的見解がなく，そのためか，いくつかある予測数の間にも差がある。本章ではこれらの定義と予測数，そして必要な介護人材数に関する議論を整理する。

中国では全介護の必要な高齢者を「失能老人」，部分的に介護の必要な高齢者を「半失能老人」と呼ぶことが多い。それぞれ「介護老人（介**护**老人）」，「介助老人（介助老人）」と呼ぶこともあるが，「失能・半失能老人」との関係は定義がなく不明である。例えば民政部制定の「老人社会福祉施設基本規範（老人社会福利机**构**基本**规**范）」（2000）では「自理老人」，「介助老人」，「介護老人」という言葉を用い，以下のように定義している。「自理老人」とは，日常生活動作を完全に自立して行うことができ，他者の介護に頼る必要のない高齢者である。「介助老人」とは，日常生活動作を手すり・杖・車いす・エレベーターなどの設備に頼る必要のある高齢者である。「介護老人」とは，日常生活動作を他者の介護に頼る必要のある高齢者である。これらの用語と「失能・半失能老人」との関係に関して説明はない。

中国老齢科学研究センター(1) が行った，中国で初めて全国的に高齢者の健康状態を調査した研究は以下のように定義している［2011：12］。食事，更衣，排泄，起居動作，入浴，室内移動の６項目を，「問題ない」，「少し困難がある」，「出来ない」の３段階で評価し，６項目すべてが「問題ない」であれば「完全自理」，１項目が「少し困難がある」であれば「部分自理」，１項目以上が「出来ない」であれば「不能自理」，「不能自理（＝失能）」のうち１－２項目は「軽度失能」，３－４項目は「中度失能」，５項目以上は「重度失能」と定義をしている。しかしどこまでが「失能老人」もしくは「半失能老人」なのかに関する定義はない。

また，ジェトロ［2013：10］は全国高齢者事業委員会の調査における定義を用いている(2)。食事，更衣，排泄，起居動作，入浴，移動の６項目のうち，一つでも出来ないものがある高齢者を「失能老人」，全てが出来るものの困難

を感じる高齢者を「半失能老人」としており，「失能老人」，「半失能老人」を定義はしているが中国老齢科学研究センター［2011］の定義と少し異なる。

定義が定まっていないためか，要介護高齢者数の予測とそのために必要な人材数の予測データ間にも比較的大きな差がある。

まず要介護高齢者の数については，政府部門の発表として，中国老齢科学研究センター［2011］のデータが最もよく使われる(3)。2010年末で全国における，全介護が必要な高齢者と部分的に介護が必要な高齢者を合わせた要介護高齢者総数は約3,300万人で，高齢者総人口の19.0%，うち全介護が必要な高齢者は約1,084.3万人で，高齢者総人口の6.25%である。2015年までに要介護高齢者総数は4,000万人に達し，高齢者総人口の19.5%に，うち全介護が必要な高齢者は約1,240万人で高齢者総人口の6.05%になる，としている。

一方，北京師範大学中国社会管理研究院副院長の張歓［2013］は，2010年の全介護が必要な高齢者は525万人，部分介護が必要な高齢者は5,948万人，合わせて6,473万人と算出し，2015年にはそれぞれ575-588万人，6,543-6,732万人で合計7,118-7,320万人になると予測している。また，2010年の部分介護が必要な高齢者は高齢者総人口の約33.3%，全介護が必要な高齢者は約３％であったとも述べているが，そのままの割合が維持されると仮定してピーク時の高齢者総人口4.87億に当てはめ算出すると，部分介護が必要な高齢者は１億6,217万人，全介護が必要な高齢者は1,461万人となる。これらを合計すると１億7,678万人となり，60歳以上人口がピーク時の2053年に要介護高齢者総数は１億７千万人近くになる可能性がある。

そして，必要な介護人材数については，政府部門である民政部は2020年までに600万人としている［中华人民共和国民政部《全国民政人材中長期発展計画 2010－2020》］。張歓［2013］は介護士と全介護が必要な高齢者，介護士と部分介護が必要な高齢者の割合をそれぞれ１：３，１：15と設定して，2010年に572万人，2015年に628-645万人必要としている。こちらについては差は大きくない。しかし全人代副委員長兼秘書長である李建国は全人代常務委員会における高齢者権益保障法執行調査状況についての報告で1,000万人が必要と発言しており［人民网2011］，必要な介護人材数に関する統一的な見解もまだない状態である。

以上のように，全介護が必要な高齢者・部分介護が必要な高齢者の定義と予測数，そして必要な介護人材数に関する統一的な見解はない状態であるが，どちらも膨大な数になることは確かである。介護人材の育成が急務となるだろう。

## 第２章　高齢者サービスと管理専攻設置の全国的動向

2014年７月現在，筆者が確認出来た高齢者サービスと管理専攻の設置校は，全部で17校である。許峰・張岩松(4)［2012：26］によれば2009年時点では８校のみで毎年の卒業生は450人あまり，張岩松［2012：14］によれば2012年時点では長沙民政職業技術学院，北京社会管理職業学院，北京労働保障職業学院，江蘇経貿職業技術学院，鐘山職業技術学院，応天職業技術学院，新疆職業大学，荷（カ）沢家政職業技術

学院，淄（シ）博師範高等専科学校，青海畜牧獣医職業技術学院などの10校余りであった。しかし，臧少敏［2013：29］によれば2013年時点で全国に約20校あるという。どの先行研究でも

表１：「高齢者サービスと管理専攻」の設置校

| 設置年 | 学校名（原語） | 所在地［地域］ | 所属学科（原語） |
|---|---|---|---|
| 1999年 | 大連職業技術学院<br>（大**连**职业技**术**学院） | 遼寧省大連市<br>［東北地域］ | 社会事業学科<br>（社会事**业**学院） |
| 1999年 | 長沙民政職業技術学院<br>（**长**沙民政**职业**技**术**学院） | 湖南省長沙市<br>［華南地域］ | 医学科<br>（医学院）<br>さらに施設管理方面と健康管理方面の二つに分かれる |
| 2005年 | 応天職業技術学院<br>（**应**天**职业**技**术**学院） | 江蘇省南京市<br>［華中地域］ | 経営工学科<br>（管理工程系） |
| 2007年 | 淄（シ）博師範高等専科学校<br>（淄博**师**范高等**专**科学校） | 山東省淄（シ）博市<br>［華北地域］ | 初等教育学科<br>（初等教育系） |
| 2007年 | 北京社会管理職業学院<br>（北京社会管理**职业**学院） | 北京市東燕郊開発区<br>［華北地域］ | 社会福祉学科<br>（社会福利系） |
| 2008年 | 昆山登雲科技職業学院<br>（昆山登云科技技**术职业**学院） | 江蘇省昆山市<br>［華中地域］ | 商務管理学科<br>（商**务**管理系） |
| 2009年 | 陝西工運学院<br>（**陕**西工**运**学院） | 陝西省西安市<br>［西北地域］ | 高齢者サービスと管理学科<br>（老年服**务**与管理系） |
| 2009年 | 福建華南女子学院<br>（福建**华**南女子学院） | 福建省福州市<br>［華南地域］ | 現代マネジメント学科<br>（**现**代管理系） |
| 2010年 | 鐘山職業技術学院<br>（**钟**山**职业**技**术**学院） | 江蘇省南京市<br>［華中地域］ | 現代サービスと管理学科<br>（**现**代服**务**与管理学院） |
| 2010年 | 北京労働保障職業学院<br>（北京**劳动**保障**职业**学院） | 北京市昌平区<br>［華北地域］ | 工商管理学科<br>（工商管理系） |
| 2010年 | 北京青年政治学院<br>（北京青年政治学院） | 北京市朝陽区<br>［華北地域］ | ソーシャルワーク学科<br>（社会工作系） |
| 2011年 | 新疆職業大学<br>（新疆**职业**大学） | 新疆ウイグル自治区<br>ウルムチ市<br>［西北地域］ | 観光とホテルマネジメント学科<br>（旅游与酒店管理学院） |
| 2011年 | 雲南新興職業学院<br>（云南新**兴职业**学院） | 雲南省昆明市<br>［西南地域］ | 看護学科<br>（**护**理系） |
| 2012年 | 武漢民政職業学院<br>（武**汉**民政**职业**学院） | 湖北省武漢市<br>［華中地域］ | 高齢者事業サービスと管理学科<br>（老年事**业**服**务**与管理系）<br>さらに介護方面と施設開発と運営管理方面の二つに分かれる |
| 不明 | 江蘇経貿職業技術学院<br>（江**苏经贸职业**技**术**学院） | 江蘇省南京市<br>［華中地域］ | 公共管理とサービス学科／高齢者産業マネジメント学科<br>（公共管理与服**务**学院／老年**产业**管理学院） |
| 不明 | **菏**（カ）沢家政職業技術学院<br>（**菏泽**家政**职业**技**术**学院） | 山東省**菏**沢市<br>［華北地域］ | 学科区分なし |
| 不明 | 青海畜牧獣医職業技術学院<br>（青海畜牧**兽**医**职业**技**术**学院） | 青海省西寧市<br>［西北地域］ | 農業経済管理学科<br>（**农业经济**管理系） |
| 2014年以降 | 未定 | 遼寧省阜新市，本溪市，朝陽市，葫芦島市（未定）(5)<br>［東北地域］ | 未定 |

（各校ウェブサイト，パンフレット，先行研究などを参考にして筆者作成）

正確な数は示していない。これら先行研究を参考にしながら調査したところ，確認出来たのが17校である。専攻の設置年順に並べ，所在地域，所属学科をまとめたのが次の表である。
以上の表から高齢者サービスと管理専攻設置の全国的動向について，三つの特徴が挙げられる。

①時期分布に関して。a)1999年とb)2005年以降の二つの時期に分けられる。1999年は最初の設置校が二校現れたのみであり，その後に続いた学校はしばらくなかった。しかし，2005年以降新たな設置校が現れ，一年をおいて2007年からは毎年新たな設置校が増えている。2000年以降，職業教育改革に関する政策が相次いで打ち出され，2002年には介護士資格の創設，2004年には初めて「専攻設置目録」に本専攻が入れられたことが，各校における本専攻の設置を後押ししたと考えられる。

②地域分布に関して。a)中国六大地域分類でみると，華北５校・華中５校・華南２校・東北１校（2014年以降設置予定の３校を合わせれば４校）・西北３校・西南１校と，すべての地域に１校はある。新疆ウイグル自治区，青海省や雲南省という内陸地域にも本専攻があることは，介護人材の育成が内陸部を含めた全地域における課題となっていることを示しているだろう。しかし同時に，b)北京市に３校，南京市に３校と集中している地域もあり，偏りがある。つまり，最も大きな地域分類で見れば，すべての地域に最低１校はあるが，都市別に見れば，北京市・南京市にのみ複数の設置校があり，偏りがある。

③学科区分に関して。本専攻を医療・福祉系学科の中に位置づける学校と経営管理系学科の中に位置づける学校，そして独立した学科として位置づける学校の３種類に分類できる。医療・福祉系学科に入れているのは，大連職業技術学院，長沙民政職業技術学院，北京社会管理職業学院，北京青年政治学院，雲南新興職業学院の５校である。経営管理系学科に入れているのは，応天職業技術学院，昆山登雲科技職業学院，福建華南女子学院，鐘山職業技術学院，北京労働保障職業学院，新疆職業大学の６校である。そして高齢者サービスと管理系学科を持っているのが陝西工運学院，武漢民政職業学院，江蘇経貿職業技術学院の３校である。本専攻が医療福祉の側面と経営管理の側面の二つを持っていることが反映された結果であると言えるだろう。

以上３つの特徴から，以下のように考察できる。1999年の最初の２校は試験的に設置されたパイロット校であり，2005年から全国的に増加していることから，本専攻の設置は本格的展開の段階に入ったと言えるだろう。ただし，専攻設置学科は医療・福祉系と経営管理系，または高齢者サービスと管理系に分かれており，学問分野としては定着していないと言える。

次章以降では，パイロット校の機能を果たしたと言える最初の設置校二校と，今後の本専攻発展の基準となると考えられる北京市の三校をとりあげてさらに詳しく分析する。最初の設置校は大連職業技術学院と長沙民政職業技術学院，北京市の設置校は北京社会管理職業学院，北京労働保障職業学院，北京青年政治学院の三校である。最初に設置した二校はその後の設置校の模範となった可能性が高い。また，15年近くの経験があるのもこの二校のみであり，ある程度定着したカリキュラムや就職先などを分析

出来るのもこの二校のみである。そして，北京市の三校は，それぞれ国務院民政部，北京市人力資源・社会保障局，中国共産党青年団北京市委員会の直属校であり，今後の高等職業学校における介護人材の育成に関して大きな影響力を及ぼすと考えられる。特に，北京社会管理職業学院は，民政部職業訓練センターと同一組織であり，本専攻設置校の指導的立場（**牽头**）とされている[(6)]。

## 第３章　最初の設置校

前章で述べたように，最初の設置校は大連職業技術学院と長沙民政職業技術学院の二校である。ここでは1999年にこの二校で設置されることになった背景，育成しようとしている人材像，育成した人材の供給先について論じる。

### ３－１　専攻設置の背景と法的位置付け

高等職業学校において高齢者サービスと管理専攻が設置されるに至った大きな背景として，1996年５月15日公布，同年９月１日施行の「職業教育法（**职业**教育法）」[(7)] が考えられる。本法は1995年「中華人民共和国教育法」と1994年「中華人民共和国労働法」が根拠となっており，第一章第一項で「科教（科学技術教育の略）興国」が掲げられ，職業教育が国家教育事業の重要な一部であり，経済・社会の発展と雇用の促進のための重要な手段であると明記された。その後，1998年に中国教育部は「21世紀に向けた教育振興のための行動計画（教育部面向21世**纪**教育振**兴**行**动计划**）」を作成し，これを1999年１月13日に国務院が公布・施行した[(8)]。本「計画」32項にて職業教育が高等教育の重要な一部とされ，「高等職業技術学院」の設立について初めて規定された。さらに翌年1999年６月13日に公布・施行された「中共中央・国務院の教育改革を深化させ全面的に素養教育を進めることに関する決定（中共中央，国**务**院**关于深化教育改革全面推进素质教育的决定**）」９項でも，99年「計画」と同様，職業教育が高等教育の重要な一部とされ，「高等職業技術学院」の設立について規定された。99年「計画」よりも詳細に具体的な「高等職業技術学院」の設置方法について規定された。「現存する職業大学・独立に設置している成人学校・一部高等専科学校は改革・改編を通して徐々に調整して職業技術学院（または職業学院）とすること，本科高等学校が企業と協力をして職業技術学院（または職業学院）を運営することを支援すること，省自治区・直轄市人民政府は当地における教育資源を集め，総合的で地域に合った職業技術学院（または職業学院）を運営しても良い」，ということを規定した。上記の99年「計画」と「決定」において，それまで各種存在していた高等職業学校を徐々に「高等職業技術学院」にすること，そして新たな「高等職業技術学院」の設立も進めることという指示がなされたことが，大連職業技術学院と長沙民政職業技術学院設立の背景であることは確かであろう。1999年に，大連職業技術学院は前身である大連幹部学院（大**连**干部学院）から，長沙民政職業技術学院は民政部長沙民政学校から，職業技術学院へと改編し，それと同時に高齢者専攻を設立した。

さらに半年後の2000年１月17日に公布・施行された「教育部の高等職業・高等専科教育における人材育成事業の強化に関する意見」通知[(9)]は2011年に廃止されるまで，高等職業・高等専

科教育の人材育成に関する指導的な法令であった。本「教育部意見」は上記の1999年「国務院の素養教育を進めることに関する決定」が根拠となり策定されたものである。ここで高等職業・高等専科教育の役割は以下のように規定されている。「高等職業・高等専科教育は高等教育の重要な一部であり，党の基本的路線を守り，生産・建設・管理・サービスの第一線において必要な徳・智・体・美等の面において全面的に優れた，高い技術を身につけた専門人材を育成する」（第一項）。この定義が後に述べる各校の人材育成目標の基になっている。さらに，本「意見」第五項にて，初めて高等職業教育における専攻の設置について言及がなされた。ここで専攻の設置は各地域の産業経済と社会発展ニーズに合わせ，その分野の実質的な雇用ニーズに照らして調整をしなければならない，とされた。さらに，学校教育課程との安定的な関係を保ちながら社会ニーズの多様性・多変性に対応すること，とした。同項にて「高等職業・高等専科教育専攻設置指南」をなるべく早く制定する，とされているが，それが制定されたものが，2004年「普通高等学校高等職業・高等専科教育における指導的専攻目録」[10] である。本「目録」は「普通高等学校高等職業・高等専科教育における専攻設置管理弁法（試行）」[11] によって公布・施行された。この専攻設置分類は，2014年に新たに改訂された。

このように，2000年「教育部意見」は初めて高等職業教育における専攻設置について規定したという点で，その後の高齢者専攻設置には大きな意味を持ったと考えられる。しかし，最初の高齢者専攻はその前年に設置されている。したがって，それぞれの前身である大連幹部学院と民政部長沙民政学校が中央政府の政策に先だって独自に行ったものであると言える。ただし，前者は大連市直属，後者は民政部直属校[12] であるため，これら学校が独自にというよりも，大連市と民政部の判断であったと言えるかもしれない[13]。

「専攻設置目録」における「高齢者サービスと管理専攻」の位置付けは以下のようになっている。専攻目録は，三段階の分類に分かれる。一番大きな分類である「大類」，それぞれの「大類」をさらに細分した「類」，それをさらに細分したのが「専攻」である。2004年と2014年の「目録」では，大枠は変化していない。「専攻設置管理弁法」によって以下のような原則が規定されたためであろう。「専攻大類目録は原則的に変えない，専攻類目録は比較的安定させる，専攻目録は基本的に開かれる」という原則である。2004年「目録」では全19大類，78類，532専攻であった。それが2014年「目録」では全19大類，130類，1167専攻，と大類は変わらないものの類と専攻が２倍近く増加した。

「高齢者サービスと管理専攻」は中国初の目録である2004年目録から，専攻の一つに入れられている。そして2014年改訂版においても位置付けは変化していない。「公共事業大類」の下に「公共事業類」「公共管理類」「公共サービス類」の三つがあり，そのうち「公共サービス類」の下に属する。「公共サービス類」の下にある専攻は2004年目録では全８専攻であったが，2014年には全18専攻へと増加した。しかし，「高齢者」がつく専攻はこの一つであることに変わりはない。

### ３－２　育成する人材像

育成する人材像を見出す指標として，取得可能な資格，学校が掲げている育成目標，授業カリキュラムを取り上げ，分析する。ここで用いる情報は，出典が示されていないものに関してはすべて各校ウェブサイトからのものである。

すべての高齢者サービスと管理専攻では介護士資格の取得が可能である。ただし，初級，中級，高級の違いはあり，またその他の資格が取得出来る学校もある。大連職業技術学院でも介護士資格取得は可能であるが級に関して説明はない。長沙民政職業技術学院は５つの資格のどれかを取得することが卒業の条件となっている。介護士中級以上，ソーシャルワーカー（社会工作者）四級，リハビリ保健師（康**复**保健**师**）中級以上，保健マッサージ師（保健按摩**师**）中級以上，もしくは心理カウンセラー（心理按**询师**）三級の５つである。

育成目標は，大連職業技術学院は「経済発展のために必要な徳・智・体を全面的に備え，職業道徳を修養し，高齢者の生活介護・心理的ケア・保健リハビリ・施設経営と管理の比較的高い能力を備えた人材の育成を目指しており，各高齢者施設に必要な介護士・心理相談員・リハビリ保健師・施設管理者を育成する」としている。長沙民政職業技術学院は「高齢者サービス業において，高齢者施設の高級介護士・基層管理者と高齢者ソーシャルワーカー等，サービスと管理の第一線で働くことを目指し，徳・智・体・美の全面においてすぐれ，心理的に健康で，高齢者サービスと管理の仕事に従事するために必要な基礎理論・専門知識と，実際的な基本的技能・技術に熟練し，『愛衆親仁』の道徳精神と『博学篤行』の素質を備えた，技能・応用力が高く持続的に発展を続けることが出来る，高齢者サービスと管理の専門人材」の育成を目標としている。

次に，授業カリキュラムについてである。まず大連職業技術学院はつぎの通りである。授業科目には老年心理学，統計学，会計学，コンピューター基礎，英語精読，老年身体健康，老年生活介護，高齢者の生理と衛生，音楽鑑賞，高齢者の食事と栄養，高齢者の心理的介護とリハビリ相談，指圧・マッサージ，高齢者によく見られる疾病の予防と介護等がある［侯在惠 2001：31-34］。2007年に「国家高等職業学校“モデル校”重点建設専攻」に選出されてからの３年間，企業・業界の専門家とともに課程の開発を行い，「高齢者の生活介護」「高齢者の心理介護」「高齢者疾病予防とケア」「高齢者施設の経営管理」の中心科目４つを突破口として，その他科目も開発を進めたという［**张**岩松 2011：49］。大連職業技術学院の特徴は，日本との関係が強いことと言えるかもしれない。日本で出版されている「介護福祉専攻」系列の教科書を翻訳し教科書としても使用しており［侯在惠 2001：33］，実習先には日本緑峰会（横浜市）の高齢者施設６ヶ所，日本東北福祉大学付属老人ホームが含まれる。

つぎに長沙民政職業技術学院についてである。専攻必修科目は正常人体構造，正常人体機能，臨床医学概要，中医学基礎，伝統高齢者リハビリ保健，ソーシャルワーク概論，老年学概論，普通心理学，専攻限定選択科目は社会調査，老年ソーシャルワーク，介護薬学，介護コミュニケーション，栄養と飲食保健，高齢者健康管理，高齢者心理ケア，リハビリ評定とリハビリ治療技術，高齢者によく見られる疾病のリ

ハビリ，実用高齢者施設管理，レクリエーションプランニングである。医学科の下にあるため医学系の科目が多いことが特徴である。長沙民政職業技術学院のカリキュラムのもう一つの特徴は，「注文式育成（**订单**式培**养**）」である。これは企業等の具体的ニーズに基づいてオーダーメイドの科目群を設置する方法であり，政策でも推進され，北京社会管理職業学院も行い始めているが，長沙民政職業技術学院はすでに３箇所と注文式育成協定を締結しており，具体的な科目も公開している。2014年現在で二つの「注文式クラス」がある。（１）「上海親和源[14] 精鋭マネージャー養成注文クラス」の科目は，社会調査，高齢者ソーシャルワーク，高齢者施設管理実務，高齢者政策と法令，方言と民俗風習，親和源養老モデル，養老マネージャー実務，レクリエーションプランニング，高齢者サービスにおける礼儀などである。（２）「上海浦東養老公益事業促進会注文クラス」の科目は，高齢者ニーズ評定，高齢者運動保健，高齢者健康管理，栄養と飲食保健，高齢者心理ケア，リハビリ評定とリハビリ治療技術，高齢者サービスにおける礼儀，高齢者によく見られる疾病のリハビリ，在宅介護実務などである。

### ３－３　育成した人材の供給先

育成した人材の供給先に関する動向としては，就職率や就職先の傾向を分析する。

大連職業学院の就職率は，最初の卒業生を出した年である2002年は100％，翌年2003年は91％，2004年はまた100％［**郅**媛 2004：63］，少し間を空けて2007年は95.6％，2008年は100％である。業種は社会福利院・養老院・高齢者マンション等での高級介護，介護管理，施設管理等が多いが，一部リハビリ保健施設で理学療法・サービス管理に従事，また，高齢者関連商品の開発企業，社会サービス企業での秘書・管理・営業・製品宣伝などに従事する者もいる。

長沙民政職業技術学院は，ウェブサイトにて2012年度・2013年度卒業生，計170人の就職先一覧を公開している。2012年度卒業生87人，2013年度卒業生83人である。ただ，うち１人は名前だけ公開しており就職先については記載がないため計169人とする。その他の学校の就職先については，大まかな傾向しか情報がないため，詳細な分析が出来ない。ここでは試みとして長沙民政職業技術学院を取り上げ，分析したい。

本専攻卒業生の就職率は2006年から2013年まで年次順につぎにようになっている。97.96%，91.13%，95.23%，100.00%，100.00%，96.15%，97.70%，98.90%である。就職率は2007年を常に高い割合を維持している。つぎに169名の卒業生の就職先を業種，運営主体の二つの視点から分析する。

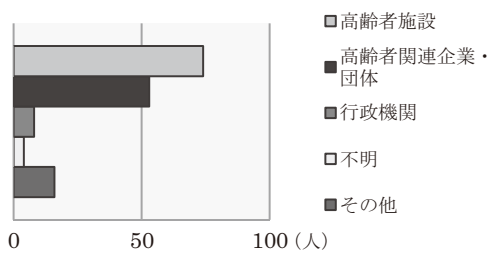
まず，業種別に分類する。169人のうち，高齢者施設に就職したのは74人，高齢者関連企業・団体53人，末端の地方自治体など行政機関８人，大学等教育機関が10人（うち９人が大学），その他14人（うち病院１人，幼稚園１人），不明４人である。高齢者関連企業・団体を細分化すると以下のようになる。老人ホームなどへの投資会社（天津浜海資産管理有限公司宝**坻**分公司９人，北京楽成老年事業投資有限公司６人，北京保利安平養老投資有限公司５人），老人ホーム運営やその他高齢者サービスを幅広く手がける会社（上海莱康企業管理有限公司26人），医療機器を扱う会社（鄭州名泰医療器械

有限公司２人），保険会社（中国平安集団上海分公司１人，中国人保財険股分有限公司弥勒分公司１人），製薬会社（南陽宛西製薬有限公司），ソーシャルワークNPO（広州普愛社会工作服務社２人）などが含まれる。その他業種には，自動車，電機，情報通信，土木・インフラ，旅行会社などがある。専攻に関連する業種に就いた割合を2006年から2013年まで年次順に見ると，つぎのようになる。83.67%，82.27%，93.30%，94.82%，92.50%，91.03%，93.10%，93.97%である。高齢者関連の職業に就いている卒業生がほとんどであると言って良い。

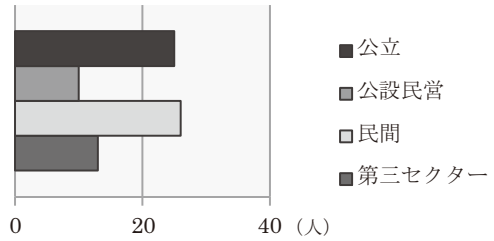
次に，運営主体別に分類する。高齢者施設のうち，公立施設に就職したのは35人（うち寧波頤楽園（７人），長沙市雨花区社会福祉センター（１人），西安市未央区老年福祉サービスセンター（１人）湖南省湘潭市湘郷玉泉山庄高齢者マンション（１人）は公設民営），民間施設26人，第三セクター運営施設13人である。高齢者関連企業・団体のうち民間企業51人，第三セクター２人である。病院は民営，幼稚園は第三セクター，その他業種のうち民間企業13人，不明１人，業種不明のうち民営は２人，不明２人である。以上をグラフにまとめると以下のようになる。

以上から，就職先の傾向としては以下のことが言える。まず，業種では高齢者施設と高齢者関連企業・団体への就職がほとんどで，学んだ分野と就職業種の整合性は比較的高い。高齢者関連企業・団体の中には投資や保険会社なども含まれており，実際に介護にあたる人の数は多くないと考えられる。膨大な数の介護人材が必要とされている状況で，本専攻卒業者の半分ほどしか実際には介護にあたらないとすれば，不足する介護人材の補填は十分ではないと言える。

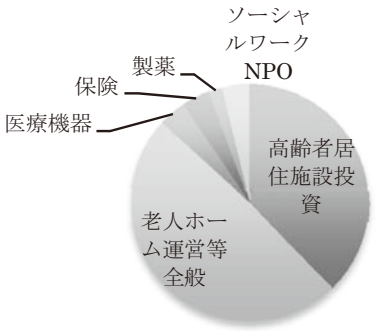
また，就職先の大きな特徴として，民間の高齢者関連企業の割合の高さも注目に値する。特に高齢者居住施設への投資を行う企業と老人ホームの運営等を行う企業の二種が多く，この分野への民間資本参入の拡大，それとともにこ




業種別就職先
（筆者作成）




高齢者施設就職者数：運営主体別
（筆者作成）




高齢者関連企業・団体就職者数：業種別
（筆者作成）

れら企業への就職者の増加も近年の特徴であると言えるだろう。高齢者施設の運営主体別に見ても公立より民間が少し多いほどである。また，上海市の特徴として，中国語で社会組織（社会**组织**）と呼ばれる第三セクター運営の施設も少なくない。福祉サービスの提供主体が多元化していることを表していると言える。

## 第４章　北京の設置校

北京の設置校として取り上げるのは北京社会管理職業学院，北京労働保障職業学院，北京青年政治学院の三校である。これら三校における高齢者サービスと管理専攻の設置は最も早くて北京社会管理職業学院が2007年，その他二校は2010年と，設置からあまり年数が経っていない。そのためカリキュラムがまだ確定していない学校もあり，就職先の傾向も分析は出来ない。しかしすでに述べた通り，これら三校はそれぞれ国務院民政部，北京市人力資源・社会保障局，中国共産党青年団北京市委員会の直属校であり，今後その他の学校にも影響を与えると考えられるため，これらの学校において育成する人材像を分析することには意義があろう。さらに，最初の設置校から10年ほど後に設置された三校と最初の設置校の共通点と相違点も分析したい。これら三校に筆者は2013年６月に訪れインタビューを行った。ここでは，ウェブサイト，パンフレット，インタビューから得た情報を用いる。

まず取得可能な資格について，北京社会管理職業学院では中級・高級介護士資格の取得が可能である。本稿で分析した５校のうち，高級介護士資格がとれるのはおそらく本校のみである。北京労働保障職業学院に関しては説明がない。北京青年政治学院では初級・中級の介護士資格，ソーシャルワーカー助手（助理社会工作**师**），心理カウンセラー（心理咨**询师**）などの資格が取得可能である。

次に育成目標について，まず北京社会管理学院は「徳・智・体・美の全面においてすぐれ，高齢者サービスと管理に必要な基礎理論知識と専門知識を備え，高齢者の生活ケア・高齢者に多い疾病のケア・高齢者健康相談・心理的ケア・高齢者に多い疾病のリハビリ保健等の技能を持ち，さらに高齢者レクリエーションの組織と企画・行政管理・介護管理・事務管理と質の管理能力があり，高齢者サービス業の技術サービス職や施設管理職を担うことが出来る多方面にわたる総合的な能力，つまり高齢者施設評価，高齢者関連商品の開発と営業管理という仕事において持続的に発展することが出来る，素養の高い実践的人材」[15] の育成を目標に掲げている。また，本校社会福祉学科の孟主任は，「目指している人材は最も基層の管理者であり，働き始めはケアに当たり，数年後には管理者になることを想定している」と述べていた[16]。北京労働保障職業学院は，「首都北京における高級高齢者施設，先進的高齢者居住区（養老社区），典型的在宅介護企業に貢献することの出来る，良好な職業的素養と高い技能を備えた高齢者サービス人材と中間管理職人材」[17] が育成目標であるという。そして北京青年政治学院は，「高齢者サービスと管理の基本的理論と知識を十分理解し，高齢者サービスと管理の基本的技能を持ち，社区（地域）や社会福祉部門などの基層組織や高齢者産業等の領域で，社会サービス・資源の調達などの面において高齢者に専門

的なサービスを提供することができ，同時に高齢者産業の企画と開発に従事することに適する」[18] 人材の育成が目標である。また，ソーシャルワーク学科副主任の袁光亮教授は「高齢者施設などにおいて管理を行う人材の育成が主な目標」と述べた[19]。

これら三校に共通するのは，ケアと管理，両方の知識と技術を備えた中間管理職人材の育成を目標としている点である。この点に関しては「高齢者サービスと管理専攻」という名称にも表れており，今後の本専攻設置校にも共通する点であると考えられる。

カリキュラムについて，三校はそれぞれ以下のような科目を設置している。北京社会管理学院の主な科目は，高齢者健康管理，欧州の介護技術，高齢者施設の管理とサービス，高齢者リハビリ保健，地域（社区）在宅高齢者サービス，高齢者ソーシャルワーク，高齢者レクリエーションの企画と組織，高齢者の心理相談と補導，高齢者市場における営業，高齢者の食品栄養保健などがある[20]。北京労働保障職業学院の授業科目は健康ケア類，健康管理類，開拓類（さらにバリアフリー環境，補助器具応用の二種に分かれる）の三種に分かれ，高齢者ソーシャルワーク／高齢者施設管理，高齢者心理の評価と関与技術，中医保健養生，疾病介護，緊急救助の模擬訓練，高齢者リハビリ介護，高齢者レクリエーションの企画と組織，社区（地域）在宅高齢者サービス，パソコン応用基礎，高齢者の栄養と食事指導，サービスの礼儀などがあるが，教科も常に改編している段階で決まったシラバスはないという[21]。北京青年政治学院に関してはパンフレットで全授業が載せられており，比較的多くの情報がある。まず，理論科目はつぎの通りである。専門の必修科目には社会学基礎，老年学概論，老年心理学，高齢者政策と法律実務，社会調査の方法，SPSS統計ソフトの利用，現代社会福祉の思想，高齢者レクリエーションの企画と実施，高齢者コミュニケーション，海外の高齢者サービス，高齢者介護理論と実践，在宅高齢者サービス，地域資源の運用と管理，高齢者施設管理の実務，長期にわたるケア，高齢者産業の経営と管理，高齢者リハビリ訓練，心理カウンセリング理論と実践がある。つぎに，選択科目には以下のものがある。a)老年保健に関する授業には，高齢者救急訓練，高齢者の飲食と健康，高齢者保健の常識，マッサージと保健，高齢者の服薬の基礎，b)老年文化に関する授業には，舞踊，マージャン，旅行，収蔵，動植物，中国民俗文化，c)老年生活に関する授業には理財，婚姻がある。つぎに実践科目として，専門技能訓練が二年生の前期と後期で３週間ずつ，高齢者サービスと管理実務総合が三年生の前期に３週間，そして，三年生の後期に卒業実習を９週間と卒業計画を９週，となっている[22]。

最初の設置校二校と北京市の三校のカリキュラムを総合して分析する。これら五校に共通する科目は以下のものである。高齢者の生活介護，疾病介護，リハビリ，心理相談，健康管理，レクリエーション，中医学またはマッサージ，高齢者施設管理，栄養と食事などである。北京の三校には共通してあるが最初の設置校二校にはないのが，社区（地域）在宅高齢者サービスに関する科目である。在宅介護の方針は近年中央政府の政策で強調されているものであり，上海市や北京市も90%は在宅，７%は社区，３%は施設と数字目標も打ち出している。これ

が設置の時間差によるものか地域差によるものかは不明であるが，施設の建設には時間も資金もかかり，在宅サービスを推進する方針が中央政府の政策でもとられていることからも，今後在宅サービスに関する授業が最初の設置校においても設けられる可能性はあるだろう。その他に各校それぞれに設けているのが，パソコン技能，統計，社会調査，高齢者関連法や政策，臨床医学概要，高齢者の習俗や文化，サービスの礼儀に関する科目などである。

これらを日本の介護福祉士育成のためのカリキュラムと比較すると(23)，認知症に関する科目がないことが分かる。認知症に関する議論も出始めてはいるが，科目が設置されていないことからもまだ重視されていないと言える。認知症高齢者の増加とそれに対する理解と対応は今後の課題となるだろう。

最初の設置校二校，北京の設置校三校すべてにおいて，介護に関する知識と技能を体系的・科学的に教育し，かつ経営管理の知識も備えた人材を育成しようとしていると言える。「注文クラス」や在宅高齢者サービス科目，日本の教材を使うなど，時代と地域に合わせた独自の取組みも見られる。

## おわりに

本稿では，まず中国における要介護高齢者の定義，予測数，そして必要な介護人材数を整理した。議論は始まったばかりの段階であり，まだ統一的な見解がない。しかし，膨大な数のケアを必要とする高齢者が生まれ，そのために膨大な数の介護人材が必要となることは確かである。

1999年，初めて高齢者サービスと管理専攻が設置された背景には職業教育が国民全体の素養を高め，さらに市場のニーズに適合し経済成長に資するよう高等職業教育改革が行われたことがあったが，大連市と長沙市はそれぞれで高齢化の状況を見越して本専攻を設置したのではないかと考えられる。その後，2002年の介護士資格創設と2004年「専攻設置目録」に本専攻が入れられて以降，本専攻の設置は全国的に本格的に展開されるようになった。

本専攻では介護に関する体系的な知識と技能を身につけ，かつ経営管理の知識も備えた中間管理職人材を育成しようとしている。また，「注文クラス」などのように時代と地域のニーズに合わせた独自のカリキュラムもあるが，カリキュラム内容もまだ試行錯誤の段階であり，今後どのような変化を遂げるか，続けて観察する必要がある。

育成した人材の供給先に関しては，高齢者サービス関連の業種が多いけれども直接介護に携わらない職種も多く，必要な介護人材数を満たすには至っていないと言える。ただし，就職先の運営主体は公的部門，民間企業部門，第三セクターと多様であり，高齢者サービス提供主体の多元化の様相が見られる。

中国における介護人材の育成は始まったばかりの段階であるが変化は速く，今後とも注視をする必要がある。

〔投稿受理日2014.8.22／掲載決定日2015.1.29〕

注

(1) 全国高齢者事業委員会下部の研究センターである。

(2) 原典は全国高齢者事業委員会の調査とあるが具体的にどの調査かは記載がない。

(3) 人民日報における要介護高齢者に関する記事は多くがこのデータを用いている，もしくはこのデータに近い数字のものである。例えば，１）潘跃;石永红;卫敏丽“1.67亿老人，如何安心养老”《人民日报》2010.11.08 第13版，２）廖文根“全国人大常委会组成人员热议老年人权益保障　应对老龄化应升为基本国策”《人民日报》2011.08.26 第11版，３）潘跃“关爱失能老人‘老年希望工程’启动”《人民日报》2013.11.14 第13版，４）徐隽“老年人，需要更多关爱（深阅读·关注老年人权益保障）”《人民日报》2013.07.01 第４版などがある。

(4) 張岩松は大連職業技術学院社会事業学科長である。

(5) 2014年５月29日遼寧省第十二期人民代表大会常務委員会にて，遼寧省教育庁長の張福昌（张福昌）が高齢者サービス関連の専攻を順次設立する計画を発表した。出典：辽宁省人民代表大会常务委员会HP“为了每个老年人都能安享晚年”http://www.lnrd.gov.cn/contents/34/9968.html（2014年５月30日）

(6)「中国高齢者サービス教育連盟」を先頭にたって創設したのも本校であり，「全国民政職業教育教育指導委員会高齢者サービスと管理専攻教育指導委員会」の副主任，秘書長もそれぞれ本校の党書記と学長である。

(7) 中华人民共和国主席令中第六十九号，1996年９月１日施行。

(8)《国务院批转〈教育部面向21世纪教育振兴行动计划〉的通知》（国发［1999］４号）

(9)《教育部关于印发〈教育部关于加强高职高专教育人才培养工作的意见〉的通知》（教高［2000］２号）

(10) 教育部《普通高等学校高职高专教育指导性专业目录》

(11) 2004年10月19日公布・施行《教育部关于印发〈普通高等学校高职高专教育专业设置管理办法（试行）〉》

(12) 当時は全国で唯一の民政部直属校である。

(13) 長沙民政学校については唯一の民政部直属校であるため，当校の決定は民政部の意見を直接表していると言えるが，大連市直属校は何校かある。ただし，1988年時点での大連管理幹部学院の党委員会書記，張景山はそれ以前，大連市第二教育局局長・大連市人民政府人材計画事務室主任であり，その他の大連市第二教育局職員らとともに論文を発表している（张景山，张继存“发展地方高等教育为社会主义建设服务——大连市2000年高等教育发展研究”《辽宁高等教育研究》1988年第１期，pp.105-109）ため，大連市政府教育局と大連幹部学院とのつながりは強いと考えられる。

(14) 上海親和源は中国で最大の高齢者施設・高齢者居住区運営企業である。

(15) 2013年５月２日第二回中国国際養老サービス業博覧会にて配布された北京社会管理職業学院2013年度入学案内パンフレットより。

(16) 2013年６月３日15：00～15：45，社会福祉学科主任の孟令君教授にインタビューを行った。

(17) 2013年５月２日第二回中国国際養老サービス業博覧会にて配布された北京労働保障職業学院高齢者サービスとマネジメント専攻のパンフレットより。

(18) 2013年５月２日第二回中国国際養老サービス業博覧会にて配布された北京青年政治学院2013年入学案内パンフレットp.8より。

(19) 2013年６月６日11：30から北京青年政治学院ソーシャルワーク学科副主任の袁光亮教授にインタビューを行った。

(20) 2013年５月２日第二回中国国際養老サービス業博覧会にて配布された北京社会管理職業学院2013年度入学案内パンフレットより。

(21) 2013年５月14日北京労働保障職業学院工商管理学科高齢者サービスとマネジメント専攻の王文焕先生にインタビューを行った。

(22) 北京青年政治学院2013年入学案内パンフレット付属資料より。ウェブサイトの情報によるとこの他にもマルクス主義哲学や毛沢東思想などの必修科目があるが，それらについてはここでは省く。

(23) 平成21（2009）年４月１日施行の厚労省「社会福祉士及び介護福祉士養成課程における教育内容等の見直しについて」やいくつかの介護専門学校のカリキュラムを参考にした。

## 参考文献

国家卫生计生委流动人口计划生育服务管理司，“《中国流动人口发展报告2013》内容概要”，〈http://www.moh.gov.cn/ldrks/s7847/201309/12e8cf0459de42c981c59e827b87a27c.shtml〉（2013年９月10日掲載）

侯在惠（2001）“老年服务与管理专业教学改革研究”《辽宁高职学报》2001年８月，Vol.3，No.4，pp.31-34

匡**贤**明（2013）“失独家庭需要的不**仅**是‘政府供**养**’”《新京**报**》2013年２月17日

人民网“李建国：中国**养**老服**务设**施不足 **专业护**理人**员**短缺”，〈http://www.022net.com/2011/8-24/496457342916 85.html〉（2011年８月24日掲載）

潘**跃**（2013）“我国首部老**龄**事**业发**展**蓝**皮**书发**布 今年老年人口将突破**两亿**”，《人民日**报**》2013年２月28日，第８版

**许**峰，**张**岩松（2012）“老年**养护**人才培**养**机制的研究”《社会福利》2012年第１期，pp.25-27

臧少敏（2013）“高**职**老年服**务**与管理**专业**核心**课**程体系研究”《北京**劳动**保障**职业**学院学**报**》2013年Vol.7. No.1，pp.29-32

**张欢**（2013）“中国**养**老服**务**人才培**养**体系与培**训**模式研究”。2013年５月２日第二回中国国際養老サービス業博覧会における養老サービス人材育成に関するシンポジウム（**养**老服**务**人才**队**伍建**设**主**题论坛** 9：00-12：00）における発表資料

**张**岩松（2011年）“‘示范校’建**设**中老年服**务**与管理**专业优质**核心**课**程建**设**的**启**示”《高等**职业**教育—天津**职业**大学学**报**》Vol.20，No.3，2011年６月，pp.49-51

**张**岩松（2012）“**论举办**高**职**本科老年服**务**与管理**专业**的必要性”《**辽宁**高**职**学**报**》2012年，Vol.14，No.4，pp.13-15

**郅**媛（2004）“**开**拓**进**取 事**业兴**旺—大**连职业**技**术**学院老年服**务**与管理**专业**建**设**”《今日科苑》2004年第７期

中国老**龄**科学研究中心**课题组**“全国城**乡**失能老年人状况研究”《残疾人研究》2011年**总**第２期，pp.11-16

中国老**龄**科学研究中心**编**（2014）“2015年全国老**龄办**将在全国**开**展‘第四次中国城**乡**老年人口状况抽**样调查**’”，全国老**龄门户**，〈http://www.cncaprc.gov.cn/news/50094.jhtml〉（2014年５月30日掲載）

中**华**人民共和国民政部HP“民政部**关**于印**发**《全国民政人才中**长**期**发**展**规划**（2010-2020年）》的通知”，〈http://www.mca.gov.cn/article/zwgk/fvfg/zh/201110/20111000185430.shtml〉（2011年10月９日掲載，2014年６月12日閲覧）

ジェトロ（2013）「中国高齢者産業調査報告書」2013年６月